

第2章 地域別構想

【本町・旭・常磐地域】

○ 地域の概要

- ・本町、旭、常磐地域の人口は、昭和60年以降減少に転じて現在8,712人（令和2年国調）です。
- ・本地域は、商業、飲食機能、JR芦別駅、公共公益施設が集積している本市の中心市街地域で地域住民のみならず、上芦別地域、西芦別・頼城地域の市民も訪れる本町地域と、観光客が訪れる旭地域、芦別発祥の地として優良な農地が広がる常磐地域に分かれています。
- ・道路網については、本地域の幹線道路は全て整備済みとなっています。
- ・JR芦別駅の東側は、土地区画整理事業によりほとんどの区域が整備され身近な都市公園についてもほぼ充足しており、周辺には空知管内で唯一のサル山があり、小動物とふれあうことができる特色のある旭ヶ丘公園が立地しています。

○ 将来像 【歩いて楽しめる集いとふれあいの中心地域づくり】

- ・本町地域は、本市の中心となる市街地として、多くの生活利便施設が集積しているのみならず、道の駅も立地する地域です。
- ・旭地域は、観光施設や病院、特別養護老人ホームが立地する地域です。
- ・常磐地域は、優良な農地が広がる田園地域です。
- ・市民はもちろん、観光客のためにも魅力ある拠点づくりを進めるとともに、現存する都市機能や生活利便性施設の維持・集約を行い、生活の質の向上と安全安心のまちづくりを目指して、だれもが“歩いて楽しめる集いとふれあいの中心地域づくり”を進めます。

○ 整備目標

分類	整備目標
土地利用	<ul style="list-style-type: none">・JR芦別駅周辺、道の駅周辺、市立病院周辺など「地域の魅力を高める拠点づくり」を進めます。・農村地域における「良好な営農環境の維持保全」を進めます。
交通施設	<ul style="list-style-type: none">・駅から市立病院までの道路については、沿線の公共施設の利用者の通行が多いことから、「冬でも人や車が安全安心に通行できる道路環境づくり」を進めます。
水と緑	<ul style="list-style-type: none">・街路樹の整備や散策路づくりなどにより、「緑に囲まれたまちづくり」を進めます。
地域らしさ	<ul style="list-style-type: none">・星の降る里大橋周辺の景観規制など、「星の降る里のイメージを高めるまちづくり」を進めます。

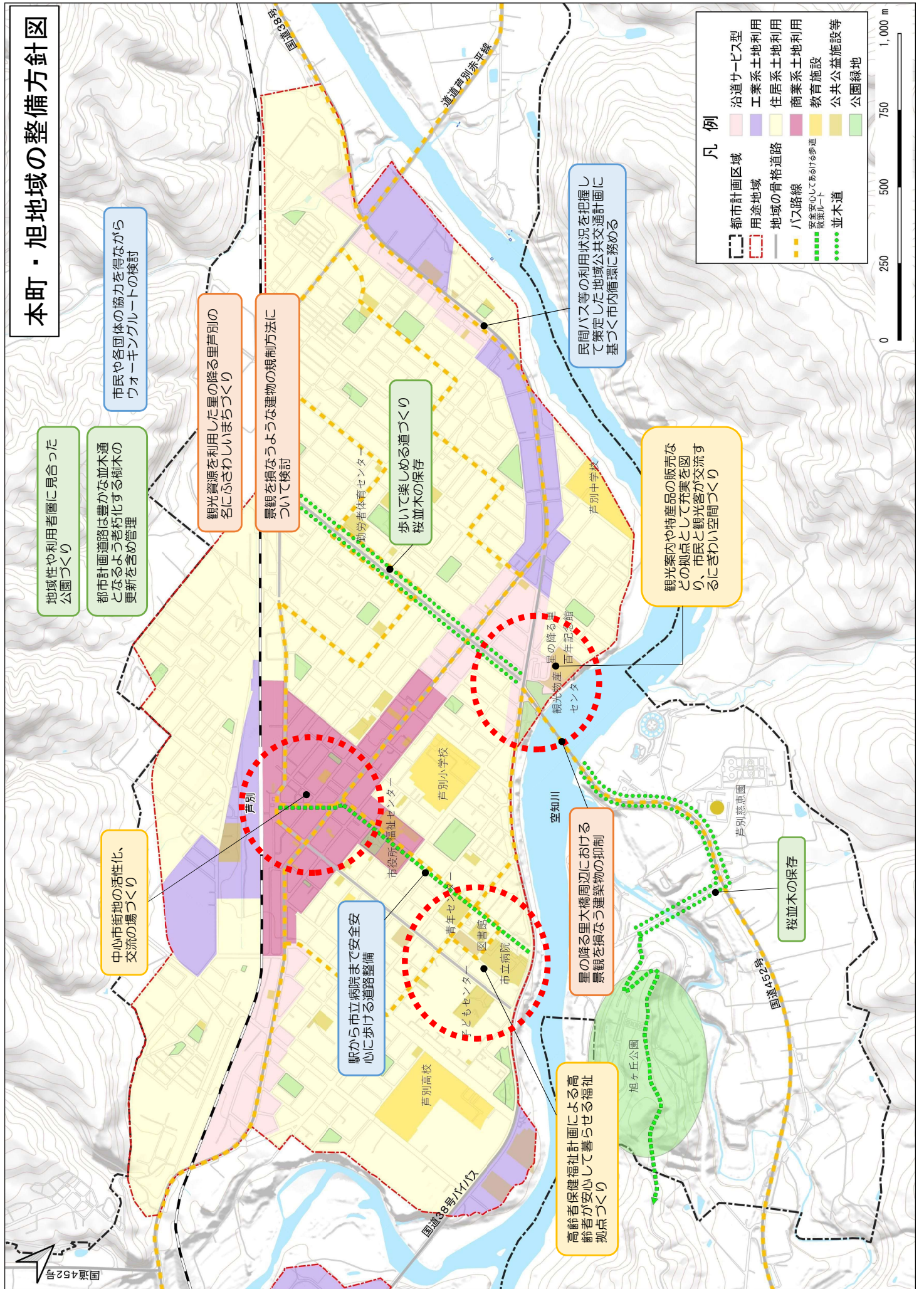
本町・旭・常磐地域の整備方針

〈 将来像 〉

歩いて楽しめる集いとふれあいの中心地域づくり

分類	まちづくりの整備方針
土地利用	<p>〈 整備目標 〉 地域の魅力を高める拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦別駅周辺は、交通結節拠点の機能を活かし、中心市街地の活性化、交流の場づくりを進めます。 ・高齢者保健福祉計画による高齢者に係るさまざまな施策の検討により、高齢者が安心して暮らせる福祉拠点づくりを進めます。 ・道の駅（周辺）について、観光案内や特産品の販売などの拠点としての充実を図り、観光客が利用しやすい、魅力を感じる場づくり、市民と観光客が交流する新たなにぎわい空間づくりを進めます。
交通施設	<p>〈 整備目標 〉 冬でも人や車が安全安心に通行できる道路環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から市立病院までの道路は、無電柱によるバリアフリー化により安心安全に歩ける道路整備を進めます。 ・将来の需要を勘案し、市民や各団体の協力を得ながら、ウォーキングルートの検討を進めます。 ・公共交通機関による利便性の向上を図るため、民間バス利用者の状況を把握して策定した「地域公共交通計画」に基づく市内循環に努めます。
水と緑	<p>〈 整備目標 〉 緑に囲まれたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、公園の適切な維持管理を行い、地域性や利用者層に見合った公園づくりを進めます。 ・北大通は、本市のシンボルとなる通りを目指して桜植樹事業を展開し、星の降る里大橋付近の桜並木と連続性をもたせたことから、歩いて楽しめる道路づくりを進めます。 ・都市計画道路は、特色ある豊かな並木通となるよう老朽化する樹木の更新を含め、植樹、維持管理に努めます。
地域らしさ	<p>〈 整備目標 〉 星の降る里のイメージを高めるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の観光資源でもある「星」・「星空」について、関係者と連携し、星の降る里芦別の名にふさわしいまちづくりを進めます。 ・星の降る里大橋周辺においては、景観に配慮したまちづくりを進めます。 ・景観を損なうような建物の規制方法について検討していきます。

本町・旭地域の整備方針図



地域性や利用者層に見合った公園づくり

都市計画道路は豊かな並木通となるよう老朽化する樹木の更新を含め管理

市民や各団体の協力を得ながらウォーキングルートの検討

観光資源を利用した星の降る里芦別の名にふさわしいまちづくり

景観を損なうような建物の規制方法について検討

歩いて楽しめる道づくり
桜並木の保存

民間バス等の利用状況を把握して策定した地域公共交通計画に基づいて市内循環に努める

観光案内や特産品の販売などの拠点として充実を図るにぎわい空間づくり

中心市街地の活性化、交流の場づくり

駅から市立病院まで安全安心に歩ける道路整備

星の降る里大橋周辺における景観を損なう建築物の抑制

高齢者保健福祉計画による高齢者が安心して暮らせる福祉拠点づくり

桜並木の保存

凡例

都市計画区域	沿道サービス型
用途地域	工業系土地利用
地域の骨格道路	住居系土地利用
バス路線	商業系土地利用
安全安心して歩ける歩道	教育施設
散策ルート	公共施設等
並木道	公園緑地



【 上芦別地域 】

○ 地域の概要

- ・上芦別地域の人口は、昭和 55 年以降、緩やかに減少しており、現在 2,830 人（令和 2 年国調）です。
- ・国道 38 号によりふたつの市街地に分かれています。
- ・国道 38 号西側は、北日本精機などの地域産業を牽引する工業施設群が立地し、工業系用途地域と住居系用途地域が入り組んで指定されています。
- ・国道 38 号東側は、地場産業の木材工場があり、店舗や住宅のほか、上芦別公園や上金剛山、なまこ山総合運動公園があり、市民のスポーツ・レクリエーションの拠点となっています。

○ 将来像 【地域産業の振興と働きやすい地域づくり】

- ・本地域には、広場や湖などの豊かな自然環境が保たれ、キャンプやカヌーなどの自然を体感することのできる上芦別公園があります。
- ・本地域の産業は、周辺環境に配慮しながら良好な産業環境を維持していることから“地域産業の振興と働きやすい地域づくり”を進めます。

○ 整備目標

分類	整備目標
土地利用	・本地域には、遊休建築物や未利用地があります。これらの場所などについて、「長期的視点から見た土地利用の再編」を進めます。
交通施設	・本地域の市街地やスポーツ・レクリエーションの拠点をはじめ、他地域への移動がスムーズにアクセスできる「交通ネットワークづくり」を進めます。
水と緑	・本地域のシンボルである上芦別公園を中心に、「水（上芦別公園）と山（上金剛山）にいだかれたうるおいのあるまちづくり」を進めます。
地域らしさ	・自然環境の良さや災害の少なさなどをアピールし、企業誘致活動に努めながら「地域産業が充実するまちづくり」を進めます。

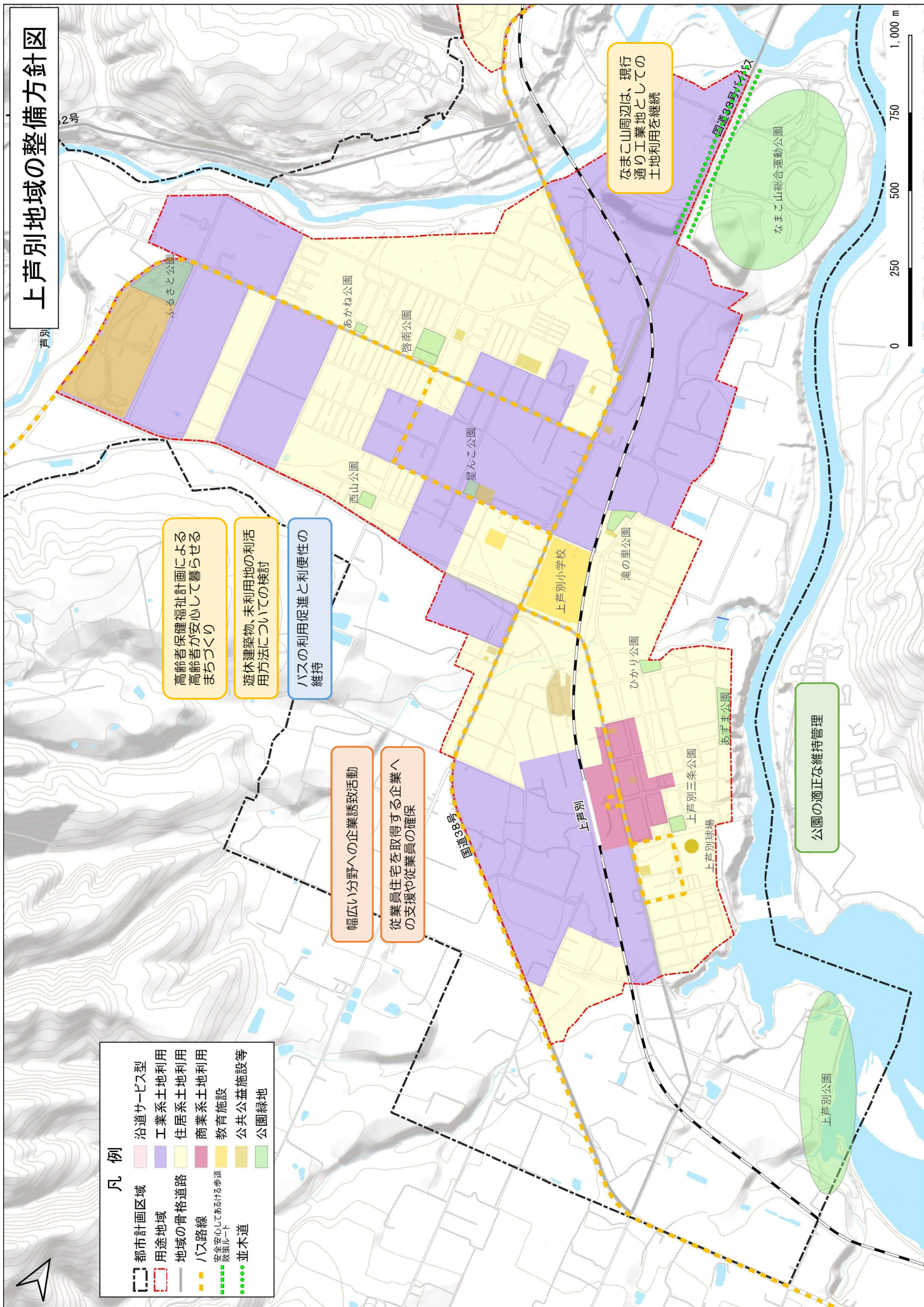
上芦別地域の整備方針

〈 将来像 〉

地域産業の振興と働きやすい地域づくり

分類	まちづくりの整備方針
土地利用	<p>〈 整備目標 〉 長期的視点から見た土地利用の再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉計画による高齢者に係るさまざまな施策の検討により、安心して暮らせるまちづくりを進めます。 ・遊休建築物がある土地や未利用地については、その利活用方法について検討を進めます。 ・なまこ山周辺は、将来とも住宅地としては位置付けないことから、用途地域も工業系とします。
交通施設	<p>〈 整備目標 〉 交通ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後増える傾向にある高齢者の移動手段確保するため、芦別市地域公共交通会議でバスの利用促進と利便性向上の検討を進めます。
水と緑	<p>〈 整備目標 〉 水（上芦別公園）と山（上金剛山）にいだかれた うるおいのあるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑豊かな公園は、心と体を癒し、ゆとりと安らぎを与えることから、今後も適正な維持管理に努め、利用者が安全に利用できる環境を維持していきます。
地域らしさ	<p>〈 整備目標 〉 地域産業が充実するまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の良さや災害の少なさなどをアピールしながら、幅広い分野への企業誘致活動を進めます。 ・従業員住宅を取得する企業を支援するほか、住環境の向上による人材の確保と市内への移住・定住に結び付ける取り組みを進めます。

上芦別地域の整備方針図



- 凡例**
- 都市計画区域
 - 用途地域
 - 地域の骨格道路
 - バス路線
 - 安全安心して歩ける歩道
 - 遊歩道
 - 並木道
 - 沿道サービス型
 - 工業系土地利用
 - 住居系土地利用
 - 商業系土地利用
 - 教育施設
 - 公共施設等
 - 公園緑地

高齢者保健福祉計画による
高齢者が安心して暮らせる
まちづくり

遊休建築物、未利用地の利活用
方法についての検討

バスの利用促進と利便性の
維持

幅広い分野への企業誘致活動

従業員住宅を取得する企業への
支援や従業員の確保

なまこ山周辺は、現行
通り工業地としての
土地利用を継続

公園の適正な維持管理



【 西芦別・頼城地域 】

○ 地域の概要

- ・西芦別・頼城地域は、以前は炭鉱で栄えた市街地でしたが、人口減少が続いており、現在 390 人（令和 2 年国調）となっています。
- ・北日本精機(株)所有の北日本精密機械工業団地がありますが、自社工場や関連企業の立地は進んでいないところです。
- ・国指定の登録有形文化財である「旧三井芦別鉄道炭山川橋梁」と「旧頼城小学校（星槎大学）校舎及び体育館」があり、文化庁から日本遺産に認定された「炭鉄港」の構成文化財でもあります。

○ 将来像 【歴史を大切にしたい安らぎあふれる地域づくり】

- ・本地域は、古くからの炭鉱の名残を多く残した地域であること、豊かな自然に恵まれた地域であることから、“歴史を大切にしたい安らぎあふれる地域づくり”を進めます。

○ 整備目標

分類	整備目標
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は人口減少が続いていることから、現居住者の生活環境を維持しつつ、「本町地域への移住促進と団地の集約化」を進めます。
交通施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や訪れた人が安全に通行できるよう適切な維持管理を行い、「安全安心でわかりやすい交通ネットワークづくり」を進めます。 ・今後増える傾向にある高齢者の移動手段を確保するため、本町地域を結ぶ公共交通の確保を図ります。
水と緑	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の公園の活用方策等を検討しながら、「住民ニーズに応じた公園の整備、改善」を進めます。
地域らしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政が協働して、本地域の自然・歴史・文化資源を保存・活用する検討を積み重ねて、「歴史・文化を学ぶ環境づくり」を進めます。

西芦別・頼城地域の整備方針

〈 将来像 〉

歴史を大切にしながら安らぎあふれる地域づくり

分類	まちづくりの整備方針
土地利用	<p>〈 整備目標 〉 本町地域への移住促進と団地の集約化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町地域への移住促進と団地の集約化を進めます。 ・現入居者の居住環境を維持しつつ、入居者がなくなった団地については用途を廃止し、解体・除却を進めます。
交通施設	<p>〈 整備目標 〉 安全安心でわかりやすい交通ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や訪れた人が安全に通行できるよう適切な維持管理を行います。 ・芦別市地域公共交通会議でバスの利用促進と利便性向上の検討を進めます。 ・一般社団法人芦別観光協会との連携により、観光案内板の充実などわかりやすいまちづくりを進めます。
水と緑	<p>〈 整備目標 〉 住民ニーズに応じた公園の整備、改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の利用実態に応じた公園の活用に向けた整備・改善を進めます。
地域らしさ	<p>〈 整備目標 〉 歴史・文化を学ぶ環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭鉱遺産については、所有者や関係者と保存・活用について検討します。 ・地域における文化財は、まちの歴史や文化を正しく理解する上で欠かせない財産であることから、文化資源の保護と保全に努めながら、活用するまちづくりを進めます。

西芦別・頼城地域の整備方針図

